

防火・防災管理者 各位

電気コード火災の未然防止について

新宿モノリス管理事務所

平素から防火防災対策等にご協力いただき感謝を申し上げます。

先日、新宿消防署より最近増加傾向にある電気コード火災の事例と対策について紹介がありました。

つきましては、下記のとおりご案内いたします。火災の未然防止にお役立て下さい。

電気コード関係の火災は火を使用していないため、気付きにくいのが特徴です。

また、発火した場合、近くに紙等の可燃物がありますと容易に火災が拡大する可能性もありますので、日頃から整理整頓にご協力ください。

記

1 電線の短絡(ショート)・半断線

事例：机やロッカー、椅子等による電気コード踏みつけ、束ねて使用したことによるコードの損傷・劣化進行に伴う短絡（ショート）などにより、発熱し火災に至ったケース。

対策：机やロッカーの下敷きにしない、コード束ねて使用しない、被覆が破れているコードは使用しない。

2 金属の接触部の過熱

事例：プラグがコンセントにしっかり差し込まれていない、またはプラグの差し刃が変形していたものを使用し差し込み部が過熱して火災に至ったケース。

対策：プラグは奥までしっかり差し込む、プラグ・コンセントに変形や異常がないか定期的に点検する。

3 トラッキング

事例：コンセントに刺したプラグの周辺で湿気を帯びたほこりが溜まり、電気回路を形成し発火したケース。

対策：コンセント周りを定期的に清掃。使用しないプラグは抜いておく。什器や大型家電の裏など、見えにくい場所のコンセントには特に注意する。

4 過電流

事例：消費電力最大 1,000W の電子レンジ 2 個を同じ電源（テーブルタップ）に差し込み使用したことで過電流が発生して火災に至ったケース。

対策：1つの電源（テーブルタップ）の最大消費電力は合計 1,500W が上限。テーブルタップには複数の差し込み口がありますが、合計で消費電力 1,500W を超えない様に使用する。一般のコンセントも、上下合わせて 1,500W 以下が目安。

業務部

担当：加藤・齋藤

連絡先 03-5381-8600